

社会科学学習指導案（歴史的分野）

学 級 3年5組（男子18名 女子20名 計38名）
場 所 3年5組 教 室（3年校舎3階）
授業者 教 諭 山 下 正 樹

1 単 元 二度の世界大戦と日本 ～世界恐慌と日本の中国侵略～

2 題 材 世界恐慌とブロック経済

3 本時の実際（1 / 4）

(1) 目 標

ア アメリカ合衆国の景気後退から世界的な経済の混乱を引き起こした世界恐慌の概要について理解し、それに伴い欧米諸国では、どのような政策がとられたか理解できる。

イ 世界的な経済の混乱が与えた影響について、多面的・多角的に考察し、資料や情報等を基に根拠を明確に論述し、説明することができる。

(2) 展 開

過程	主な学習活動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価
導 入	<p>1 世界恐慌前後のアメリカ合衆国の写真を提示し、気付いたことを発表する。</p> <p>2 学習課題を確認する。 (学習課題)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 世界恐慌とはどのような出来事で世界中にどのような影響を与えたのだろうか。 </div>	一斉 5分	<p>○ 写真を比較させ、アメリカ合衆国の景気後退に気付かせる。また、世界恐慌への関心をもたせる。</p> <p>◎ 本時の学習への関心・意欲が高まったか。</p> <p>○ 本時の学習課題を全員に確認させる。</p>
展 開	<p>3 世界恐慌の概要について理解する。</p> <p>4 世界恐慌に対するイギリスやフランス、アメリカ、ソ連の対応について調べる。 ・イギリス、フランス→ブロック経済 ・アメリカ →ニューディール政策 ・ソ 連→五か年計画 ・ドイツ、日本 →(次時学習内容)</p> <p>5 世界恐慌が、世界中にどのような影響を与えたのか、自分の考えをまとめ、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> イギリスやフランスではブロック経済による経済回復を目指し、アメリカではニューディール政策といった公共事業をおこして景気回復を図った。ソ連は五か年計画により、影響を受けなかった。 (判断基準B) </div>	個 10分 個 ↓ グル ープ 15分 個 15分	<p>○ 資料や写真等から、世界恐慌の概要について説明し、確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 1929年にアメリカの株価大暴落をきっかけに起こった不景気と世界を巻き込んだ経済の混乱(判断基準B) </div> <p>○ 教科書や資料集を基に、個で自分の考えをもたせ、グループ活動でさらに深める。</p> <p>◎ 資料等から世界各国の対応を読み取ることができたか。</p> <p>○ 本時の学習や既習事項を基に、学習課題に対する答えを明確にし、発表させる。</p> <p>◎ 根拠を明確にして、説明することができたか。</p>
終 末	<p>6 本時の確認と次時の予告を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ※ 日本はどうだったのだろうか。 </div>	一斉 5分	<p>○ 重要事項の確認や授業内容の取組を振り返らせる。</p> <p>◎ 授業に意欲的に取り組み、学習内容を理解することができたか。</p>